

被害別対策例



対策例とタンチョウの牛舎等への侵入について



対策分野 2 物理的に侵入させない方法

対策例 5 防鳥シートカーテン

酪農を主体とした畜産農場では開放的な畜舎が多いが、その開口部から車両や家畜が出入りすることから完全にふさいでしまうと作業効率が低下するという声があります。カーテン方式は、車両や家畜の出入りは可能ですが、野生鳥類の侵入を防ぐ効果があります。

Point

- ・防鳥シートカーテンは作業車両がそのまま乗り入れすることができる。
- ・通気性もあるので、畜舎内の換気も良好である。



出典：「野生鳥類由来感染症の伝播リスク評価手法及び対策の開発」概要版 (北海道立総合研究機構 環境・地質本部 環境科学研究センター)

対策例 6 チェーンを付ける

出入り口にチェーンを等間隔で垂らすことで防鳥効果が見込まれます。チェーンは人や家畜の出入りは容易なので、作業は効率的に行うことができます。

Point

- ・設置して時間が経過すると慣れが見られるようになる可能性がある。
- ・チェーンがずれて間隔が開くと侵入が容易になるので注意が必要。



出典：十勝農業共済組合 (<http://www.tokachi-nosai.or.jp/gijutu/cn27/pg1172.html>)

対策例 7 ネットを張る (テグスも含む)

牛舎のほか、田畑や果樹園に野生鳥類が侵入することを防ぐにはネットやテグスが効果的です。人や家畜、作業車の出入り口はカーテン式にすることで、出入りが容易になります。

Point

- ・地面に落ちたネットにタンチョウが絡まないように注意する。
- ・シカによる破損を考慮して、強度が十分なネットを用いる。



出典：「畑作テグス君」設置マニュアル (2016) (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 鳥獣害管理プロジェクト (中央農業総合研究センター・情報利用研究領域)

被害別対策例

デントコーン畑の芽をつむ場合 対策例 ①～④、⑦

牧草ロールへの穴あけ 対策例 ⑨

畑作物被害 対策例 ①～④、⑦

牛舎等に侵入し牛を威嚇する場合 対策例⑤～⑦ 場合によって①～④

※対策例⑩は全てに共通して使用

タンチョウの牛舎等への侵入について

タンチョウはいきなり牛舎内に侵入するのではなく、まずその兆候が見られることもあるため、その前段階で防除することで、被害を最小限に抑えることが可能です。

タンチョウがいったん安全な場所と認識してしまうと、あとの対策は困難になります。**初期の段階で徹底した対策を行う**ことで (例えば追い払いも1日だけでなく、数日徹底的に行うなど)、タンチョウは危険な場所と認識し長い目で見た場合の対応は楽になります。

